



あなたの「子育て」に役立つ情報がいっぱい!

子育て応援サイトQR



定期的ながん検診の受診をおすすめします

# ご存じですか? 子宮頸がん



## 子宮頸がんの現状

▼子宮頸がんは、子宮頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。日本では毎年、約11万人の女性がかかる病気です。毎年約2900人が亡くなっています。子宮頸がんは、早期に見出し治療を受けることで、多くの場合は命を落とさずに治すことができます。しかし、手術により子宮の一部を切り取ることや妊娠した際の早産リスクが高まったり、妊娠できなくなったりすることがあります。

## 子宮頸がんへの対策

▼一人一人にできることは、次の2つです。  
●子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の接種  
●子宮頸がん検診の受診  
【ワクチンの定期接種】  
市では、HPVワクチンの接種を定期予防接種として実施していますが、平成25年6月に厚生労働省から「副反応の発生頻度等が明らかになり、適切な情報提供ができるまでの間、積極的な接種の勧奨を差し控える」との通知が出されました。このため、市は対象者やその保護者に対し、接種を促す通知などを行っていません。しかし、ワクチンの接種を希望す

る定期予防接種対象者は、無料で接種できます。

対象/小学校6年生〜高校1年生相当年齢の女子

※希望者は、厚生労働省ホームページ「ヒトパピローマウイルス感染症・子宮頸がん」とHPVワクチン」のページを参考にしてください。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

## 子宮頸がん検診

子宮頸がんは、7割程度が治ると考えられています。早期がんなら、完治の可能性はさらに高まります。子宮頸がんを早期発見するためにも、20歳になったら、子宮頸がん検診を定期的に行うことが重要です。2年に一度、市の検診として受診できます。希望者は、健康づくり課へお問い合わせください。

## 受診方法

- ① 集団検診と個別検診のどちらで受診したいかを決める。
  - ② 健康づくり課へ、検診の参加登録を申し込む。
  - ③ 受診票が届いたら、予約の有無などを確認し、受診する。
- ※個別検診を希望する場合も、必ず健康づくり課へお問い合わせください。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



子宮頸がんについて、理解を深めましょう

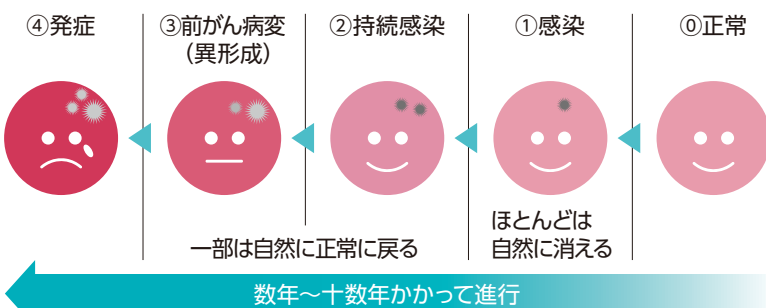
# 子宮頸がんにかかる仕組み



## 感染原因と発症

▼子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の持続的な感染が原因となり、発症します。感染のほとんどが、性的接触によるものですが、このウイルスに感染すること自体は、決して特別なことではなく、ほとんどのウイルスは、自然に排除されます。しかしごく一部の人で、ウイルスが排除されずに長期間感染が継続し、数年から十数年かかって進行し、子宮頸がんを発症します。

## 子宮頸がんの進行



※進んだ③や④の段階で見つかったら、手術などの治療が必要です。